

[資料 1]

安全保障と防衛力に関する懇談会の開催について

平成16年4月20日

内閣総理大臣決裁

1 趣旨

我が国の安全保障を巡っては、大量破壊兵器等の拡散の進展や国際テロなどの新たな脅威への対応が大きな課題となっている。こうした課題に対し、我が国として、今後、より適切に対応していくためには、我が国の安全保障と防衛力の在り方について、幅広い視点から、総合的な検討を行うことが必要である。

このため、内閣総理大臣が安全保障、経済等の分野の有識者の参集を求め、御意見をいただくことを目的として、「安全保障と防衛力に関する懇談会」(以下、「懇談会」という。)を開催する。

2 構成

- (1) 懇談会は、別紙に掲げる有識者より構成し、内閣総理大臣が開催する。
- (2) 座長は、出席者の互選により選任する。
- (3) 懇談会は、必要に応じ、関係者の出席を求めることができる。

3 開催予定

懇談会は、本年秋頃までの間、必要の都度、開催する。

4 庶務

懇談会の庶務は、関係省庁の協力を得て、内閣官房において処理する。

(別紙)

安全保障と防衛力に関する懇談会メンバー

荒木 浩 東京電力顧問
五百旗頭 真 神戸大学法学部教授
佐藤 謙 都市基盤整備公団副総裁(元防衛事務次官)
田中 明彦 東京大学東洋文化研究所教授
張 富士夫 トヨタ自動車株式会社取締役社長
西元 徹也 日本地雷処理を支援する会会長(元防衛庁統合幕僚会議議長)
樋渡 由美 上智大学外国語学部教授
古川 貞二郎 前内閣官房副長官
柳井 俊二 中央大学法学部教授(前駐米大使)
山崎 正和 東亜大学学長

(50音順)